

観光の可能性を探る

韓 準祐 グローバルスタディーズ学部 准教授

多摩大学教員サイト URL

http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/han_junu.html

キーワード

観光まちづくり、ダークツーリズム、身体障害者の余暇活動

概要

本研究室では、観光の可能性を探るというテーマに関する研究と地域貢献に取り組んでいる。観光研究のなかでも、観光まちづくり、ダークツーリズム、身体障害者の余暇活動の3つのキーワードを軸に研究を進めている。まず、観光まちづくり研究については、主に大分県由布市由布院温泉と滋賀県高島市新旭町針江地区を事例に取り上げ考察を続けている。なお、2014年度から2016年度にかけては、全国都道府県・市町村にアンケート調査および現地調査を実施し、行政側が考える観光まちづくりの現状及び阻害要因を明らかにした。次に、身体障害者の観光を含む余暇活動に関する研究にも取り組んでいる。特に身体障害者の余暇活動の現状とそれを取り巻く環境及び阻害要因の究明を試みている。最後に、近年韓国の済州4・3事件とそれにまつわるダークツーリズムに関する研究も進めている。イデオロギー的対立に基づく韓国の現代史の悲劇のひとつである4.3事件について考えることは、韓国社会のみならず、在日コリアンの歴史に焦点を当てる作業でもある。限られた文学作品等を通じて4・3へ「間接的」に接近した時代から、ダークツーリズムという形での「直接的」接近が可能になった現在、韓国社会は済州4.3事件に関連するダークツーリズムはどのような機能を有するかについて主に焦点を当て考察を行っている。

利用・用途

応用分野

- ・観光まちづくりの実践を行っている全国の自治体や団体への提言
- ・社会的弱者向けの観光商品を企画している業者および社会的弱者をサポートする行政・団体等への参考資料としての研究成果の提供
- ・一般市民への社会的弱者の余暇活動やその環境への関心の喚起
- ・ダークツーリズムで消費されるものが何かを理解することで、観光商品化への提言のみならず、その社会に関する理解の深化への貢献

関連論文・著書

1. 「発見される里山：針江」（単著）『地域観光と国際化』、くんぷる、47-74、2019年2月。
2. 「身体障害者の観光における経済的阻害要因に関する考察」（共著）『多摩大学グローバルスタディーズ学部紀要』（11）、1-11頁、2019年3月。
3. Dark Tourism of an Ongoing Issue: A case study of the Jeju April 3rd Incident, Korea, Junwoo HAN, Bokyoung Kang, *Memoirs of Institute of Humanities, Human and Social Sciences, Ritsumeikan University* (121), pp.199-233. 2019
4. 「地域観光に関連する認定・登録制度がもたらすもの」（単著）『立命館人文科学研究所紀要』（125）、251-284頁、2021年1月。
5. 「SAVOR JAPAN 農泊食文化海外発信地域」の申請に関する報告」（単著）『多摩大学グローバルスタディーズ学部紀要』（14）、149-165. 2022年3月。

多摩大学 学長室

206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103

E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp

URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学